

2025.6.19



地域日本語支援ニュース こだま 第 456 号

ともに生きる

～地域で、日本で、そして世界で～



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース 「こだま」】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT）発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部：<https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>

---

#### ■機関誌『AJALT』48号のご紹介■

6月10日刊行！

機関誌『AJALT』48号のご紹介

編集長 青木 忍

『AJALT』（アジャルト）はAJALTが社団法人となった1977年以来、年に1回、AJALT所属の日本語教師によって企画・編集・発行を続けてきた機関誌です。

日本語教育界からの発信という創刊の精神を受け継ぎ、今年も第48号を刊行することができました。以下にその内容をご紹介します。

◆ご挨拶 公益社団法人国際日本語普及協会 理事長 戸田佐和

◆巻頭インタビュー「私とことば」

「常に全力。でも颯爽と！」

ヴァイオリニスト 廣津留すみれ（ひろつる すみれ）

今号は、世界的に活躍するヴァイオリニストの廣津留すみれさんのインタビューをお届けします。幼いころからヴァイオリンと英語に取り組み、米国ハーバード大学、ジュリアード音楽院で学んだ廣津留さんは、現在日本を拠点として、演奏活動はもちろん大学での教授活動、テレビコメンテーターなど多彩な活躍をされています。いくつもの表現ツールをお持ちの廣津留さんに、「ことば」にまつわる想いをうかがいました。

## ◆特集「就労分野の日本語教育」をデザインする

ここ数年日本で就労する外国人の数は急増し、昨年末には 230 万人を超えました。2024 年春には「日本語教育機関認定法」が施行されましたが、同法では、認定日本語教育機関が「留学」「就労」「生活」のいずれか（または複数）を目的とした課程を置くことと定められており、新たな分野「就労」が注目されています。

今特集では、外国人材を取り巻く現状を俯瞰（ふかん）する「現状編」、  
「就労分野」に有効なタスクベースの日本語教育についての専門家の論考と  
評価にかかわる考察を掲載した「理論編」、そして企業と AJALT のカリキュラム  
デザインの実践例を紹介する「実践編」の 3 部構成で、「就労分野の日本語  
教育」を多角的に考察しています。

### 【現状編】

- 外国人材の雇用（こよう）にかかわる人々
- 日本で外国人が働くための在留資格
- グローバル社会の雇用を支える法律家 杉田昌平弁護士に聞く
- 外国人材の受け入れと日本語教育の現状 日本商工会議所 大下英和氏インタビュー

### 【理論編】

- 第二言語習得研究の知見を生かすタスクベースの言語指導（小柳かおる）
- 就労分野の日本語教育と評価（編集部）
- 課題遂行型授業への挑戦：「指導」から「支援」へ（近藤彩）

### 【実践編】

- 企業のデザインする日本語教育 セブンイレブン社とメルカリ社（編集部）
- AJALT の取り組みからの提案  
課題遂行型のタスクによるカリキュラムデザイン（品田潤子）
- AJALT の「就労分野」カリキュラム

Japanese for Busy People クラスと外交官プログラム（AJALT 日本語授業部）

その他にも以下の多彩な読み物を掲載しています。ぜひお手に取ってご覧ください。

## ◆「日本にいます。元気です。独自の技術で活躍する 4 人のストーリー」

さまざまな経緯で母国を離れ、遠い日本にやってきた 4 人の皆さん。日本語を学び、自分で身につけた技術を生かして起業し、日本に根を張って活躍しています。墨絵アート、クラフトビール、着物アップサイクル、ベトナム料理の世界で力強く生きる 4 人のストーリーをカラーでご紹介します。

◆日本語おろおろ うろうろ

日本語教師あるあるを捉えた日本語コラム。ご一緒に「おろおろ うろうろ」をお楽しみください。

◆ 発達特性と日本語教育

近年、発達特性を持つ方への対応について目にするが増えてきています。2023年には「障害者差別解消法（しょうがいしゃさべつかいしょうほう）」が成立、昨年には合理的配慮の提供が義務化されました。日本語教育界も例外ではありません。私たちに何ができるのか、日本語教育と特別支援教育の専門家橋本洋輔氏にお話をうかがいました。

◆アメリカヒューストンから 現地日本語教育便り

シリーズでお届けしている AJALT 教師会員による海外便り。今回は NASA の宇宙センターで有名な米国ヒューストンからの便りです。

◆2024AJALT 交流会

5年ぶりに対面で開催された AJALT 交流会の様を、写真と文でレポートします。

◆大江戸骨董市（こっとういち）探訪記 日本を知る

学習者と編集委員の教師たちが、東京有楽町で定期的で開催される「大江戸骨董市」をめぐるしました。どんな発見があったのでしょうか。

◆「学習者の作品から」

今年もまた興味深い作品が届きました。外交官から留学生、子どもたちまで、多様な学習者たちがつづるユニークな作文や絵をお楽しみください。

◆ AJALT 教師の書棚から

日本語教師は読書好き。編集部6人それぞれの「推し（おし）」の一冊をご紹介します。

◆ AJALT の教材開発

2024年度に改訂、開発された2つのオンライン教材を紹介します。ひとつは、地域の日本語学習を支援するための素材集「リソース型生活日本語」。もうひとつは、ウクライナ避難民向けに開発されたテキスト『あおぞら』の副教材です。

◆AJALT この一年の活動

『AJALT』48号は、Amazon、凡人社、全国の書店、AJALTのHPからご購入いただけます <https://www.ajalt.org/about/bulletin/>

定価 880円（本体 800円）+送料

---